

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 幕末・開国

名前

得点

/8

問1 幕末期の長州藩において、松下村塾で学んだ伊藤博文などの志士たちが当初参加していた、「天皇を尊び、外国の勢力を排除しようとする」政治思想を何といいますか。 (2020年 和歌山公立入試 類似)

1. 尊王攘夷                      2. 公武合体                      3. 和魂洋才                      4. 文明開化

問2 日米修好通商条約の締結によって貿易が本格化した際、イギリスなどの欧米諸国から機械生産による安価な製品が大量に流入しました。これにより、日本の農村部などの生産地に大きな打撃を与えた品物の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2025年 愛媛公立入試 類似)

1. 綿糸・綿織物                      2. 生糸・茶                      3. 絹織物・陶磁器                      4. 毛織物・鉄鋼

問3 19世紀半ば、江戸幕府が長年続けていた「異国船打払令」を緩和し、新たに「薪水給与令」を出した直接的な理由として最も適切なものはどれですか。 (2025年 沖縄公立入試 類似)

1. アヘン戦争で大国である清がイギリスに敗北したことを知り、欧米諸国との武力衝突を避ける必要があったため。                      2. ペリーが浦賀に来航し、武力を背景に開国と通商を強く要求してきたため。                      3. 産業革命を終えた日本が、欧米諸国との積極的な貿易によって富を蓄えようと考えたため。                      4. 清との長年の貿易を維持するために、イギリスからの抗議を全面的に受け入れる決定をしたため。

問4 1858年、幕府の大老であった井伊直弼はアメリカとの間にある条約を結びました。この条約の締結が、尊王攘夷運動を激化させるなど国内の大きな反発を招いた主な理由として最も適切なものを選びなさい。 (2025年 青森県公立入試 類似)

1. 朝廷の許可を得ずに日米修好通商条約を結んだから                      2. 朝廷の許可を得ずに日米和親条約を結んだから                      3. 開港場を下田と函館の2港に限定したから                      4. 日本に関税自主権がある平等な条約だったから

問5 幕末の政治において、幕府が朝廷との関係を深めて権威の回復を図った「公武合体」の具体的な事例として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 愛媛公立入試 類似)

1. 孝明天皇の妹である和宮と、将軍である徳川家茂の婚姻                      2. 薩摩藩と長州藩が秘密裏に結んだ薩長同盟                      3. 徳川慶喜が政権を朝廷に返上した大政奉還                      4. 欧米諸国との間で結ばれた日米修好通商条約

問6 1860年代の日本の貿易状況をまとめた資料によると、輸出額の約8割を特定の品目が占める一方で、貿易開始後の物価指数は急激な右肩上がりの傾向を示しています。この資料が示している当時の経済状況の説明として、正しい用語の組み合わせを選びなさい。 (2024年 佐賀公立入試 類似)

1. 主力輸出品：生糸、発生した現象：物価騰貴                      2. 主力輸出品：綿織物、発生した現象：物価騰貴                      3. 主力輸出品：生糸、発生した現象：デフレーション                      4. 主力輸出品：茶、発生した現象：殖産興業

問7 19世紀後半、日本の美術が西洋の芸術家に大きな影響を与え、日本文化への関心が急速に高まった現象を「ジャポニスム」と呼ぶ。この現象において、ゴッホやモネといった西洋の画家に多大な影響を与えた、日本の浮世絵師の名前として適切なものはどれか。 (2026年 群馬公立入試 類似)

1. 葛飾北斎                      2. 横山大観                      3. 雪舟                      4. 歌川広重（安藤広重）ではなく、明治以降に活躍した人物

問8 幕末の貿易において、日本を開国させた当事国であるアメリカの貿易シェアが急速に低下し、代わってイギリスが圧倒的なシェアを獲得した背景として、当時のアメリカ国内の状況を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2018年 岐阜公立入試 類似)

1. 国内で南北戦争が勃発し、国外への貿易に注力する余裕がなくなった。                      2. 産業革命の進展が遅れ、日本に輸出するための工業製品が不足していた。                      3. アヘン戦争に敗北した影響で、東アジアにおける外交権を失っていた。                      4. 江戸幕府ではなく、薩摩藩や長州藩などの有力な雄藩との個別貿易を優先した。

## 答え合わせ・解説

|    |   |  |
|----|---|--|
| 問1 | <b>答え 1</b><br><b>尊王攘夷</b>  | ペリー来航以降、幕府が天皇の許しを得ずに条約を締結したことへの反発から、天皇を敬う「尊王」と、外国勢力を撃退する「攘夷」が結びついた思想が広まりました。伊藤博文などの長州藩の志士たちは、当初はこの思想に基づき、イギリス公使館を焼き討ちにするなどの激しい行動に出ましたが、後に海外の進んだ実情を知ること、開国と近代化による国づくりへと方針を転換しました。               |
| 問2 | <b>答え 1</b><br><b>綿糸・綿織物</b>  | 産業革命を経験した欧米諸国から、工場で大量生産された安価な綿糸や綿織物が輸入されるようになりました。それまで日本の農村で手作業によって行われていた綿作や綿織物業は、価格競争に勝つことができず、国内の生産地は深刻な経済的打撃を受けることとなりました。一方、生糸や茶は当時の主要な「輸出」品目です。  |
| 問3 | <b>答え 1</b><br><b>アヘン戦争で大国である清がイギリスに敗北したことを知り、欧米諸国との武力衝突を避ける必要があったため。</b> | 幕府は当初、1825年の異国船打払令によって外国船を力づくで追い払う方針をとっていました。しかし、1840年に始まったアヘン戦争で、アジアの大国であった清がイギリスの近代的な兵器に圧倒され、不平等条約（南京条約）を結ばされたことを知ります。これにより幕府は、日本が同様の攻撃を受けることを強く恐れ、無用な紛争を避けるために物資の補給を認めて穏やかに退去させる方針へと転換しました。 |
| 問4 | <b>答え 1</b><br><b>朝廷の許可を得ずに日米修好通商条約を結んだから</b>                             | 日米修好通商条約の調印に際し、孝明天皇は反対の意向を示していましたが、大老の井伊直弼は朝廷の許可（勅許）を得ないまま調印を断行しました。この違勅調印が、天皇を尊ぶ「尊王」の思想を持つ人々からの激しい怒りを買って、倒幕運動へとつながる尊王攘夷運動が激化しました。なお、日米和親条約はこれより前の1854年に結ばれた条約であり、井伊直弼が大老になる前の出来事です。           |
| 問5 | <b>答え 1</b><br><b>孝明天皇の妹である和宮と、将軍である徳川家茂の婚姻</b>                           | 公武合体政策を象徴する出来事が、14代将軍・徳川家茂と、天皇の妹である和宮（和宮親子内親王）の結婚です。幕府は皇族を将軍の妻に迎えることで、幕府と朝廷の一体感を演出し、失墜した幕府の権威を取り戻そうとしました。これに対して、薩長同盟や大政奉還は、幕府を中心とした体制そのものを終わらせようとする動きに関連する事項です。                                |
| 問6 | <b>答え 1</b><br><b>主力輸出品：生糸、発生した現象：物価騰貴</b>                                | 幕末の貿易では、生糸が圧倒的なシェアを持つ輸出商品でした。この生糸の流出と、金銀の交換比率の差を利用した金の流出、さらには幕府による貨幣の改鑄などが重なり、激しいインフレーション（物価騰貴）が発生しました。この経済的混乱は、生活に苦しむ人々による「世直し」を求めめる一揆や、外国人への排斥運動である「攘夷」の動きを加速させる要因となりました。                    |
| 問7 | <b>答え 1</b><br><b>葛飾北斎</b>  | 19世紀のヨーロッパでは、万国博覧会などを通じて日本の浮世絵が紹介され、大胆な構図や色彩が西洋の画家に衝撃を与えました。特に葛飾北斎の作品は高く評価され、印象派の画家たちの作風に強く反映されました。横山大観は明治時代から昭和にかけて活躍した日本画家であり、この時期のジャポニスムの源流とは異なります。   |
| 問8 | <b>答え 1</b><br><b>国内で南北戦争が勃発し、国外への貿易に注力する余裕がなくなった。</b>                    | アメリカは1858年に日米修好通商条約を締結しましたが、直後の1861年から国内で南北戦争が始まりました。この内戦によりアメリカは日本との貿易を拡大させることが困難になり、その隙を突く形でイギリスが日本市場でのシェアを独占する形となりました。この状況は、後の幕末外交においてイギリスが新政府側を、フランスが幕府側を支援するといった勢力図にも影響を与えました。            |

問1 1840年代の歴史的事象をまとめた資料において、1840年のアヘン戦争開始に続き、1842年に江戸幕府がある法令を出したことが記されています。それまでの強硬な姿勢を改め、外国船に燃料や水を提供することとしたこの法令の名称を選びなさい。

(2016年 愛媛公立入試 類似)

1. 薪水給与令                      2. 異国船打払令                      3. 武家諸法度                      4. 日米和親条約

問2 幕末に生糸が海外へ大量に輸出されたことは、当時の日本国内の産業にどのような影響を与えましたか。その背景を含めた説明として最も適切なものを選んでください。

(2014年 沖縄公立入試 類似)

1. 輸出が優先されたことで国内の生糸が不足し、価格が高騰したため、国内の絹織物業が圧迫された。  
2. 海外から安価な生糸が大量に流入したため、国内の養蚕業が衰退し、米の生産への転換が進んだ。  
3. 生糸の輸出で得た利益が絹織物業に還元されたため、最新の機械が導入されて生産効率が飛躍的に向上した。  
4. 生糸に代わって茶の輸出が急増したため、絹織物業に代わって製茶業が国内最大の産業となった。

問3 幕末の動乱期に起こった次の4つの出来事について、最も古いものから年代順に正しく並んでいるものはどれですか。

(2017年 鹿児島公立入試 類似)

1. 安政の大獄、桜田門外の変、薩英戦争、大政奉還                      2. 桜田門外の変、安政の大獄、大政奉還、薩英戦争                      3. 安政の大獄、大政奉還、桜田門外の変、薩英戦争                      4. 大政奉還、薩英戦争、桜田門外の変、安政の大獄

問4 近代以降の日米関係を記した年表において、1858年の出来事として「井伊直弼が日米修好通商条約を結ぶ」という記述がある。この時の状況について述べた文として正しいものはどれか。

(2021年 熊本県公立入試 類似)

1. 大老が朝廷の許可を得ないまま調印したことが、幕府への批判を強める要因となった。  
2. 老中の水野忠邦が、アメリカからの要求を拒否するために結んだ同盟である。  
3. 勝海舟が全権大使としてワシントンへ渡り、アメリカ大統領と直接調印した。  
4. 朝廷から正式に条約締結の命令が下されたため、国内の混乱は最小限に抑えられた。

問5 1858年に日米修好通商条約が締結された後、幕府の政策に強く反対した尊王攘夷派の武士や公家に対し、大老の井伊直弼が行った大規模な処罰を何といいますか。

(2021年 千葉県公立入試 類似)

1. 安政の大獄                      2. 蛭社の獄                      3. 桜田門外の変                      4. 天保の改革

問6 江戸幕府が1825年に出した「異国船打払令」と、1842年に出した「薪水給与令」の内容の違いを説明した文として、正しいものはどれですか。

(2019年 和歌山公立入試 類似)

1. 異国船打払令が近づくと外国船を無差別に攻撃する方針だったのに対し、薪水給与令は燃料や食料を与えて退去させる方針である  
2. 異国船打払令がキリスト教の布教を禁止する方針だったのに対し、薪水給与令はキリスト教徒に限定して入国を認める方針である  
3. 異国船打払令がオランダ以外の船を拒絶する方針だったのに対し、薪水給与令はアメリカとの通商を全面的に認める方針である  
4. 異国船打払令が日本の全港を閉鎖する方針だったのに対し、薪水給与令は長崎と横浜の2港に限り開港する方針である

問7 江戸幕府の第15代将軍である徳川慶喜が「大政奉還」を行った背景や目的の説明として、最も適切なものはどれですか。

(2023年 福井公立入試 類似)

1. 武力による倒幕を目指す勢力の口実をなくし、天皇を中心とした新しい政治体制の中で徳川家が実権を維持しようとした。  
2. 全国の藩主に対して土地と人民を天皇に返還させ、天皇が全国を直接統治する仕組みを整えるために行った。  
3. 欧米列強との不平等条約を改正するために、幕府の権限をすべて天皇に譲渡して責任を回避しようとした。  
4. 関白や摂政といった古い役職を廃止し、総裁・議定・参与の三職を置く新たな政府を樹立することを目的とした。

問8 幕末の開国にともなって外国との貿易が始まると、日本の国内経済には大きな変化が生じました。この時期、人々の生活が苦しくなった主な原因として正しい説明はどれですか。

(2024年 埼玉県公立入試 類似)

1. 生糸や茶などの生活関連品が大量に輸出されたことで国内が品不足となり、物価が急激に上昇したため。  
2. 外国から安価な製品が大量に流入したことで国内の産業が衰退し、深刻な物価の下落が発生して失業者が増えたため。  
3. 幕府が貿易を完全に独占して国内流通を制限したため、商品の流通がストップし、全国的な飢饉が発生したため。  
4. 外国貨幣が大量に持ち込まれたことで日本の貨幣価値が極端に高まり、庶民が国内の物資を購入できなくなったため。

## 答え合わせ・解説

|    |   |   |
|----|---|---|
| 問1 | <b>答え 1</b><br><b>薪水給与令</b>   | 江戸幕府は、隣国の清がアヘン戦争で敗れたことを受け、それまでの「異国船打払令」を継続することは日本に危険を及ぼすと判断しました。そこで1842年に、来航した船に対して薪（燃料）や水、食料を供給して速やかに退去させる「薪水給与令」を発令しました。これは幕末の開国へと向かう過渡期の重要な政策転換の一つです。  |
| 問2 | <b>答え 1</b><br><b>輸出が優先されたことで国内の生糸が不足し、価格が高騰したため、国内の絹織物業が圧迫された。</b>             | 海外での需要が高まり、生糸が大量に輸出された結果、日本国内の市場に出回る生糸が不足しました。これにより生糸の価格が跳ね上がり、原材料を確保できなくなった国内の絹織物業者が苦境に立たされるといった経済的な混乱が生じました。  |
| 問3 | <b>答え 1</b><br><b>安政の大獄、桜田門外の変、薩英戦争、大政奉還</b>                                    | 1858年から始まった安政の大獄が起点となり、その弾圧に対する報復として1860年に桜田門外の変が起きました。さらに1863年の薩英戦争によって薩摩藩が倒幕へと傾く大きな転換点を迎え、最終的に1867年、15代将軍徳川慶喜が政権を朝廷に返す大政奉還が行われました。歴史の因果関係をたどると、幕府による強権政治、その破綻、地方雄藩の台頭、そして幕府の終焉という流れになっています。               |
| 問4 | <b>答え 1</b><br><b>大老が朝廷の許可を得ないまま調印したことが、幕府への批判を強める要因となった。</b>                   | 日米修好通商条約の調印は、当時の最高責任者である大老・井伊直弼の判断で行われましたが、天皇の許可（勅許）を得ていなかったことが最大の問題となりました。この独断専行は、反対派を弾圧した「安政の大獄」とあわせて、幕府の権威を失墜させる一因となりました。水野忠邦はそれ以前の時代の人物であり、勝海舟はこの条約の批准書を交換するために咸臨丸で渡米しましたが、調印そのものを行った大老ではありません。         |
| 問5 | <b>答え 1</b><br><b>安政の大獄</b>   | 大老の井伊直弼が、将軍の世継ぎ問題や、天皇の許しを得ないまま条約を締結したことに反対する勢力を弾圧した事件です。この処罰によって吉田松陰や橋本左内といった多くの志士たちが処刑されました。   |
| 問6 | <b>答え 1</b><br><b>異国船打払令が近づく外国船を無差別に攻撃する方針だったのに対し、薪水給与令は燃料や食料を与えて退去させる方針である</b> | 異国船打払令（無二念打払令）は、日本の沿岸に近づく外国船を見つけ次第、大砲で攻撃して追い払うという非常に強硬な政策でした。しかし、隣国の清がイギリスとの戦争に敗れたことを受け、幕府は不必要な武力衝突を避けるために方針を緩め、漂流した船に薪や水、食料などを提供して帰ってもらう薪水給与令へと切り替えました。  |
| 問7 | <b>答え 1</b><br><b>武力による倒幕を目指す勢力の口実をなくし、天皇を中心とした新しい政治体制の中で徳川家が実権を維持しようとした。</b>   | 当時の徳川慶喜は、倒幕派による武力行使を避けるため、形式的に政権を朝廷へ返上しました。その狙いは、天皇のもとに諸藩の代表が集まる議会形式の政治体制を作り、その中で最大の勢力である徳川家が政治の主導権を握り続けることにありました。なお、土地と人民を返上させるのは「版籍奉還」、三職の設置は「王政復古の大号令」に関する記述であり、大政奉還とは時期や内容が異なります。                       |
| 問8 | <b>答え 1</b><br><b>生糸や茶などの生活関連品が大量に輸出されたことで国内が品不足となり、物価が急激に上昇したため。</b>           | 開国後の貿易では、生糸や茶などが主要な輸出品となりましたが、これらが大量に海外へ流出したことで国内向けの物資が不足しました。また、金と銀の交換比率が内外で異なっていたことから大量の金が国外へ流出し、それに対応するために幕府が質の劣る貨幣を発行したことも、さらなる物価の上昇（インフレーション）を招く要因となりました。このように物資の不足と貨幣制度の混乱が重なったことで、庶民の生活は非常に苦しくなりました。 |

問1 1858年にポーハタン号などの艦上で調印された日米修好通商条約などの不平等条約において、日本側に認められていなかった、輸出品や輸入品にかかる税率を自国で決定する権利を何といいますか。（2020年 北海道公立入試 類似）

1. 関税自主権 2. 領事裁判権 3. 治外法権 4. 参政権

問2 19世紀半ばのアメリカ合衆国では、産業構造の違いや奴隷制の存廃をめぐる国内が二分される内戦が起きました。この戦争の名称と、戦時中に奴隷解放宣言を発表して北部の勝利を決定づけた大統領の組み合わせとして適切なものはどれですか。

（2024年 千葉県公立入試 類似）

1. 南北戦争とリンカン 2. 南北戦争とワシントン 3. アメリカ独立戦争とリンカン 4. アメリカ独立戦争とワシントン

問3 下田・函館のほか、神奈川・長崎・新潟・兵庫の開港、および領事裁判権（治外法権）の承認などを規定した日米修好通商条約に関連して、当時の貿易が国内経済に及ぼした影響の背景として適切な説明はどれですか。（2025年 沖縄公立入試 類似）

1. 日本に関税自主権がなかったため、安価な綿糸や綿織物の流入を抑えることができず、国内の綿作や生産地に打撃を与えた。 2. 領事裁判権を認めた結果、外国人商人が国内の生産地へ自由に立ち入ることが許可され、綿織物の産地が直接支配された。 3. 幕府が目安箱に寄せられた意見をもとに株仲間を再興し、輸入綿糸の価格を吊り上げたため、国内の織物業者が倒産した。 4. 金貨と銀貨の交換比率が外国と異なっていたため、安価な綿織物を輸入する代わりに大量の銀貨が国内に流入した。

問4 19世紀後半のアメリカ合衆国において、工業化を推進し奴隷制に反対する北部と、奴隷制を利用した農園経営の維持を主張する南部との対立から発生した内戦と、その結果について述べた文として正しいものはどれか。（2023年 鳥取公立入試 類似）

1. リンカン大統領の指導のもとで北部が勝利し、奴隷解放が実現したことで国家の統一が図られた。 2. ワシントンが指導する大陸軍が南部を制圧し、イギリスからの独立と同時に奴隷制の廃止を宣言した。 3. 第一次世界大戦の影響により南北の融和が進み、国際連盟の仲介によって奴隷制が段階的に廃止された。 4. 南部の主張が認められて州の権限が強化され、工業化を抑制して農業中心の国家体制が確立された。

問5 1858年に、大老の井伊直弼が天皇の許可を得ないままアメリカと調印した、貿易の開始を目的とした条約は何ですか。（2020年 香川公立入試 類似）

1. 日米修好通商条約 2. 日米和親条約 3. 日朝修好条規 4. 日米安全保障条約

問6 1858年、江戸幕府の大老である井伊直弼が、朝廷の許可（勅許）を得ないままアメリカと結んだ条約について、その内容と性質を説明したものと最も適切なものはどれですか。（2025年 千葉公立入試 類似）

1. アメリカに領事裁判権を認め、日本に関税自主権がない不平等な内容であった。 2. 下田と箱館の2港を開港し、アメリカ船に食料や石炭を供給することを約束した。 3. 日本が清の独立を承認し、領事裁判権を相互に認め合う対等な内容であった。 4. イギリスとの軍事同盟を結び、ロシアの南下政策に対抗することを目的とした。

問7 日米修好通商条約の締結によって貿易が本格化した際、イギリスなどの欧米諸国から機械生産による安価な製品が大量に流入しました。これにより、日本の農村部などの生産地に大きな打撃を与えた品物の組み合わせとして正しいものを選択してください。（2025年 愛媛公立入試 類似）

1. 綿糸・綿織物 2. 生糸・茶 3. 絹織物・陶磁器 4. 毛織物・鉄鋼

問8 日本では江戸幕府が倒れ、戊辰戦争を経て明治維新へと進んでいた19世紀後半、世界各地でも国家の統一や近代化に向けた大きな動きが見られました。この時期のアメリカ合衆国の状況について述べた文として、正しいものはどれですか。（2024年 千葉県公立入試 類似）

1. 自由貿易と奴隷制廃止を求める北部と、保護貿易と奴隷制維持を求める南部が対立し、大規模な内戦が展開された。 2. イギリスの植民地支配からの独立をめざして戦争が起こり、自由と平等を掲げた独立宣言が発表された。 3. 絶対王政による圧政に対して市民が立ち上がり、人権宣言が採択されて国王が処刑される革命が起きた。 4. 国王が議会を無視して増税を強行したことから内乱となり、最終的に血を流さずに立憲君主制へと移行した。

問9 1858年に結ばれた条約に基づき、日本地図上において江戸に近い位置にあり、当時「神奈川」として開港が予定されながらも、実際には隣接する村が整備されて開港場となった現在の都市名を次の中から選びなさい。（2017年 茨城県公立入試 類似）

1. 函館 2. 下田 3. 横浜 4. 神戸

## 答え合わせ・解説

|    |  |  |
|----|--|--|
| 問1 | <b>答え 1</b><br><b>関税自主権</b>  | 日米修好通商条約では、日本が輸入品に対して自由に税率を決めることができず、相手国との協議で決めることになっていました。このように、自国で独自に税率を定める権利がない状態を、関税自主権の欠如といいます。これに対し、外国人が日本で犯した罪をその国の領事が裁く権利は領事裁判権（治外法権）と呼ばれ、関税自主権とともに幕末から明治にかけての条約改正における大きな課題となりました。 |
| 問2 | <b>答え 1</b><br><b>南北戦争とリンカン</b>  | 19世紀半ばのアメリカでは、商工業が発展し奴隷制に反対する北部と、綿花栽培などの大農園経営を行い奴隷制の維持を主張する南部が激しく対立しました。これが南北戦争へと発展しましたが、リンカン大統領が奴隷解放宣言を出したことで国際的な支持も北部に集まり、最終的に北部が勝利して国家の統一が維持されました。                                      |
| 問3 | <b>答え 1</b><br><b>日本に関税自主権がなかったため、安価な綿糸や綿織物の流入を抑えることができず、国内の綿作や生産地に打撃を与えた。</b> | 日米修好通商条約は、領事裁判権の承認や関税自主権の欠如といった不平等な内容を含んでいました。特に、日本側に輸入関税を自主的に決定する権利がなかったため、海外の安価な工業製品に対して高率の関税をかけて国内産業を保護することができませんでした。その結果、大量に輸入された綿糸や綿織物が国内市場を圧迫し、伝統的な綿作や綿織物業に大きな損害を与える要因となりました。        |
| 問4 | <b>答え 1</b><br><b>リンカン大統領の指導のもとで北部が勝利し、奴隷解放が実現したことで国家の統一が図られた。</b>             | 1861年に始まった南北戦争は、自由な労働力を求める北部の工業地帯と、奴隷制による綿花栽培を続けたい南部の農園主との対立が背景にあります。北部の勝利によって、1863年の奴隷解放宣言が実質的な効力を持つようになり、アメリカは近代的な工業国家としての歩みを強めることになりました。  |
| 問5 | <b>答え 1</b><br><b>日米修好通商条約</b>   | 1854年に結ばれた日米和親条約は開国と燃料・食料の補給を主眼としていましたが、1858年のこの条約はアメリカ側の強い要求により、本格的な貿易（通商）を開始するために締結されました。勅許を得ない「無勅許調印」が行われたことも大きな特徴です。   |
| 問6 | <b>答え 1</b><br><b>アメリカに領事裁判権を認め、日本に関税自主権がない不平等な内容であった。</b>                     | 日米修好通商条約は、貿易を開始するために結ばれた条約ですが、日本に在留する外国人が罪を犯しても日本の法律で裁けない「領事裁判権（治外法権）」を認め、輸入品の関税率を自国で決める「関税自主権」が日本にないなど、日本にとって不利な不平等条約でした。井伊直弼が勅許を得ずに調印したことは、後の尊王攘夷運動を激化させる要因となりました。                       |
| 問7 | <b>答え 1</b><br><b>綿糸・綿織物</b>   | 産業革命を経験した欧米諸国から、工場で大量生産された安価な綿糸や綿織物が輸入されるようになりました。それまで日本の農村で手作業によって行われていた綿作や綿織物業は、価格競争に勝つことができず、国内の生産地は深刻な経済的打撃を受けることとなりました。一方、生糸や茶は当時の主要な「輸出」品目です。  |
| 問8 | <b>答え 1</b><br><b>自由貿易と奴隷制廃止を求める北部と、保護貿易と奴隷制維持を求める南部が対立し、大規模な内戦が展開された。</b>     | 日本の幕末から明治維新にかけての時期（1860年代）は、アメリカでは南北戦争が戦われていた時期に相当します。北部はイギリス製品に対抗するため保護貿易を求めましたが、南部は原材料を輸出するため自由貿易を求めるなど、経済面でも対立がありました。他の選択肢は、18世紀のアメリカ独立戦争やフランス革命、17世紀のイギリスにおける名誉革命の説明です。                |
| 問9 | <b>答え 3</b><br><b>横浜</b>   | 日米修好通商条約で定められた開港場の一つです。幕府は、東海道の宿場町として賑わっていた神奈川（現在の横浜市神奈川区周辺）を外国人と接触させることを避け、対岸の横浜村を整備して開港場としました。これが現在の横浜港の発展につながりました。  |

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 幕末・開国

名前

得点

/7

**問1** 1858年、江戸幕府の大老である井伊直弼が、朝廷の許可（勅許）を得ないままアメリカと結んだ条約について、その内容と性質を説明したものと最も適切なものはどれですか。（2025年 千葉公立入試 類似）

1. アメリカに領事裁判権を認め、日本に関税自主権がない不平等な内容であった。
2. 下田と箱館の2港を開港し、アメリカ船に食料や石炭を供給することを約束した。
3. 日本が清の独立を承認し、領事裁判権を相互に認め合う対等な内容であった。
4. イギリスとの軍事同盟を結び、ロシアの南下政策に対抗することを目的とした。

**問2** 19世紀のイギリスにおいて、産業革命の進展にともない発生した社会状況の説明として、背景や因果関係が最も正しいものはどれですか。（2025年 宮城県公立入試 類似）

1. 工場の機械化により生産力は飛躍的に向上したが、資本家と労働者の間に大きな格差が生じ、不衛生な住環境や児童労働が深刻な問題となった。
2. ルネサンスによる人間中心の考え方が普及した結果、労働者の権利が法律で即座に保護され、産業革命の初期から安定した生活が送られた。
3. 世界恐慌の影響で失業者が急増したため、労働者は政府主導の公共事業に従事することで、労働組合を解散して国家の近代化に協力した。
4. 宗教改革によって教会の権威が低下したことで、労働者は伝統的な生活習慣を捨て、都市部から農村部へと大規模な移住を開始した。

**問3** 19世紀半ば、ロシアが南下政策を進め日本近海への接触を強めていた時期に、アメリカが日本に対して条約締結を強く求めてきた背景と、その結果として結ばれた日米和親条約の性質を説明したものと、最も適切なものはどれですか。（2021年 岡山公立入試 類似）

1. アメリカは自国の捕鯨船の補給地を確保するなどの目的で開国を迫り、日本は軍事的衝突を避けるために、まずは通商（貿易）を含まない形で開港に応じた。
2. フランスがアジアでの勢力を拡大する中で、アメリカは対抗して自由貿易を求めるために、最初から関税自主権を認めない不平等な通商条約を結ばせた。
3. イギリスがアヘン戦争で清を破ったことを受け、日本はイギリスからの攻撃を恐れて、アメリカを仲介役として友好関係を築くための軍事同盟を結んだ。
4. アメリカはキリスト教の布教を主な目的として来航し、日本は幕府の権威を維持するために、布教を認める代わりに貿易を制限する和親条約を結んだ。

**問4** 大老の井伊直弼が「安政の大獄」によって、尊王攘夷派の武士や大名らを厳しく処罰した背景や目的として最も適切な説明はどれですか。（2020年 愛媛公立入試 類似）

1. 日米修好通商条約の無勅許調印や将軍継嗣問題で幕府と対立した勢力を排除し、幕府の独裁的な権威を立て直そうとした。
2. 戊辰戦争において旧幕府軍側に味方した地方藩主を処刑することで、明治新政府の正当性を全国に示そうとした。
3. 生麦事件によってイギリスとの外交関係が悪化したため、攘夷を主張する過激な浪士たちを取り締まって国際的な信用を得ようとした。
4. 日米和親条約の締結に伴い、開港に反対して一揆を起こした農民や町人を鎮圧し、国内の治安を維持しようとした。

**問5** 幕末の日本において、外国船への対応や開国をめぐる政治情勢の変化を示す3つの出来事、「異国船打払令」「日米和親条約」「桜田門外の変」を、年代の古い順に正しく並べたものを選びなさい。（2022年 新潟県公立入試 類似）

1. 異国船打払令 → 日米和親条約 → 桜田門外の変
2. 異国船打払令 → 桜田門外の変 → 日米和親条約
3. 日米和親条約 → 異国船打払令 → 桜田門外の変
4. 日米和親条約 → 桜田門外の変 → 異国船打払令

**問6** 1854年にペリーと結んだ日米和親条約から、1858年に結ばれた条約に至るまでの歴史的な経緯を説明したものと最も適切なものはどれですか。（2020年 香川公立入試 類似）

1. アメリカ総領事のハリスが下田に着任し、清（中国）がアロー戦争で敗れた状況などを伝えて、通商条約の締結を強く求めた。
2. ペリーが再び浦賀に来航し、軍事力を背景に貿易を開始するための具体的な港の選定と関税率の決定を迫った。
3. ロシアのプチャーチンが長崎に来航し、アメリカよりも先に貿易の権利を得るために大規模な通商交渉を江戸幕府に申し入れた。
4. 岩倉具視が全権大使としてアメリカへ渡り、貿易の拡大を条件として、それまでの不平等な条項をすべて撤廃することに成功した。

**問7** 幕末の長州藩は、当初は外国船を砲撃するなどの過激な行動をとっていましたが、下関戦争での敗北を経て方針を転換しました。その後の、薩摩藩との関係から政権の返上に至るまでの歴史的な流れとして、最も適切なものはどれか。（2022年 香川公立入試 類似）

1. 坂本龍馬らの仲介で薩摩藩と密かに協力関係を築き、倒幕の機運が高まる中で、徳川慶喜が政権を天皇に返上した。
2. 薩摩藩と協力して外国勢力を完全に排除する攘夷を再開し、その功績を認められた幕府が自主的に政権を返上した。
3. 幕府軍の長州征伐に屈した長州藩が、幕府を支えるために薩摩藩と合流し、天皇を中心とした公武合体を推進した。
4. 開国を求める外国勢力と結んだ長州藩が、武力で江戸を占領したため、徳川慶喜は止むを得ず政権を返上した。

## 答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**  
**アメリカに領事裁判権を認め、日本に関税自主権がない不平等な内容であった。**
- 日米修好通商条約は、貿易を開始するために結ばれた条約ですが、日本に在留する外国人が罪を犯しても日本の法律で裁けない「領事裁判権（治外法権）」を認め、輸入品の関税率を自国で決める「関税自主権」が日本にないなど、日本にとって不利な不平等条約でした。井伊直弼が勅許を得ずに調印したことは、後の尊王攘夷運動を激化させる要因となりました。
- 
- 問2** **答え 1**  
**工場の機械化により生産力は飛躍的に向上したが、資本家と労働者の間に大きな格差が生じ、不衛生な住環境や児童労働が深刻な問題となった。**
- 産業革命は人々の生活を便利にしましたが、同時に多くの社会的矛盾を生み出しました。資本家は利益を追求するために労働者を安く長時間働かせ、都市部では急激な人口流入によりスラム化が進むなど、深刻な社会問題が発生しました。こうした状況を解決しようとする動きが、後の社会主義思想や労働立法へとつながっていきます。
- 
- 問3** **答え 1**  
**アメリカは自国の捕鯨船の補給地を確保するなどの目的で開国を迫り、日本は軍事的衝突を避けるために、まずは通商（貿易）を含まない形で開港に応じた。**
- 当時のアメリカは、太平洋での捕鯨や中国との貿易ルートにおける寄港地（燃料や水の補給場所）を必要としていました。一方、日本側は北から南下を続けるロシアの脅威も感じており、強力な軍事力を持つアメリカとの戦争を回避する現実的な判断から、貿易を目的とした「通商条約」ではなく、まずは友好と補給を目的とした「和親条約」を締結しました。この後に結ばれる日米修好通商条約との違いを理解することが重要です。
- 
- 問4** **答え 1**  
**日米修好通商条約の無勅許調印や将軍継嗣問題で幕府と対立した勢力を排除し、幕府の独裁的な権威を立て直そうとした。**
- 安政の大獄は、日米修好通商条約の無勅許調印に対する批判と、13代将軍家定の跡継ぎをめぐる争い（将軍継嗣問題）という2つの大きな対立が背景にあります。井伊直弼は、幕府の方針に従わない前水戸藩主の徳川斉昭や、のちに松下村塾で知られる吉田松陰らを処罰することで、幕府の権力を強引に回復させようと試みました。
- 
- 問5** **答え 1**  
**異国船打払令 → 日米和親条約 → 桜田門外の変**
- 江戸幕府は1825年に外国船を撃退することを命じた「異国船打払令」を出しましたが、その後、1854年にアメリカのペリー来航を受けて「日米和親条約」を締結し、開国へと踏み切りました。さらにその後の1860年、強引に開国を進めた大老の井伊直弼が「桜田門外の変」で暗殺され、幕政の混乱が深まりました。出来事の推移は、鎖国の継続（異国船打払令）から、開国（日米和親条約）、そして開国をめぐる対立（桜田門外の変）という順序になります。
- 
- 問6** **答え 1**  
**アメリカ総領事のハリスが下田に着任し、清（中国）がアロー戦争で敗れた状況などを伝えて、通商条約の締結を強く求めた。**
- 日米和親条約に基づいて下田に着任したハリスは、当時の清がイギリスなどに敗れた情勢を伝え、日本が不利な状況に陥る前にアメリカと条約を結ぶよう圧力をかけました。これが1858年の通商条約締結へとつながる大きな要因となりました。
- 
- 問7** **答え 1**  
**坂本龍馬らの仲介で薩摩藩と密かに協力関係を築き、倒幕の機運が高まる中で、徳川慶喜が政権を天皇に返上した。**
- 長州藩は外国との戦争に敗れたことで、単独での攘夷（外国排除）が不可能であることを悟り、武器の調達などを通じて薩摩藩と接近しました。坂本龍馬らの仲介で1866年に薩長同盟が結ばれると、武力による倒幕の動きが本格化しました。これに対し、江戸幕府の第15代将軍・徳川慶喜は、先手を打って政権を朝廷に返す「大政奉還」を行い、倒幕の口実をなくしつつ、新政府でも主導権を握ろうと試みました。

**問1** 1860年代のアメリカで、リンカーン大統領が「人民の、人民による、人民のための政治」という演説を行った当時の、世界の歴史的な状況についての説明として正しいものはどれですか。 (2017年 和歌山公立入試 類似)

- |   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 1. アメリカ国内で、工業化を進める北部と奴隷制を維持する南部の対立から南北戦争が続いていた。 | 2. フランスで市民が絶対王政を打倒し、人権宣言を採択したフランス革命が最高潮に達していた。 | 3. 清において孫文らが中心となり、皇帝政治を倒してアジア初の共和制を目指す辛亥革命が起きていた。 | 4. コロンブスがスペイン女王の支援を受けて大西洋を横断し、カリブ海の島々に到達していた。 |
|---|--|---|---|

**問2** 1860年代の横浜港における貿易品目の特徴と、当時の貿易収支の状況について説明した文として、正しいものはどれですか。なお、当時の横浜港では、ある品目が輸出の65.1%を占め、別の品目が輸入の52.8%を占めていました。 (2017年 香川公立入試 類似)

- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1. 輸出品は生糸、輸入品は綿織物が中心であり、輸出額が輸入額を上回る輸出超過の状態であった。 | 2. 輸出品は綿織物、輸入品は生糸が中心であり、輸出額が輸入額を上回る輸出超過の状態であった。 | 3. 輸出品は茶、輸入品は武器が中心であり、輸入額が輸出額を上回る輸入超過の状態であった。 | 4. 輸出品は生糸、輸入品は綿織物が中心であり、輸入額が輸出額を上回る輸入超過の状態であった。 |
|---|---|---|---|

**問3** 1840年に勃発したアヘン戦争において、勝利したイギリスが清との間で結んだ講和条約の名前と、その条約でイギリスが領有することになった地域の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

- |              |              |              |                |
|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 1. 南京条約 — 香港 | 2. 南京条約 — 台湾 | 3. 下関条約 — 香港 | 4. 下関条約 — 遼東半島 |
|--------------|--------------|--------------|----------------|

**問4** 日米修好通商条約に代表される不平等条約の内容について、領事裁判権を認めたことで日本が被った実質的な不利益として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)

- |   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| 1. 日本国内で事件を起こした外国人に対し、日本の警察や裁判所が日本の法律を適用して処罰できなかった。 | 2. 外国から輸入される商品に対して日本側が自由に税率を決めることができず、安い外国製品が流入した。 | 3. 特定の国に与えた最も有利な条件を、他の締約国に対しても自動的に適用しなければならなくなつた。 | 4. 外国人が指定された居留地を越えて、日本国内のどこでも自由に旅行したり商売したりすることを認めざるを得なかった。 |
|---|--|---|--|

**問5** 幕末の政治的推移において、1850年代の開港から1860年代の倒幕運動へとつながる因果関係について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 佐賀公立入試 類似)

- |  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| 1. 幕府が朝廷の許可なく開港や条約調印を進めたことに反対派が反発し、それに対する安政の大獄での弾圧が、有力藩による薩長同盟などの倒幕運動を加速させた。 | 2. 薩摩藩と長州藩が同盟を結んだことで幕府が外交権を失い、その結果として日米和親条約が締結され、混乱を鎮めるために安政の大獄が行われた。 | 3. 安政の大獄によって幕府の権威が回復したため、諸外国との開港が円滑に進み、最終的には薩摩藩と長州藩が幕府を支えるために薩長同盟を結成した。 | 4. 開港による経済の混乱を防ぐために薩摩藩と長州藩が幕府に安政の大獄を提案し、その後両藩が主導権を握るために薩長同盟を解消させた。 |
|--|---|---|--|

**問6** 1865年の横浜港における貿易統計では、輸出額の約88%を生糸が占める一方、輸入額の約4割を綿織物が占めていました。このような貿易の構造が、当時の日本国内の産業に与えた影響として、最も適切な説明はどれか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)

- |  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| 1. 海外から安価な綿織物が大量に流入したことで、国内の綿織物生産が大きな打撃を受けた。 | 2. 生糸が大量に輸出されたことで国内供給が不足し、国内の着物産業が急速に近代化された。 | 3. 輸入された毛織物を加工して再輸出する加工貿易が盛んになり、各地に官営工場が建設された。 | 4. 貿易の利益が農村へ還元されたため、江戸時代の封建的な社会構造が維持される要因となった。 |
|--|--|--|--|

**問7** 19世紀半ばの清において、イギリスが軍事攻撃を仕掛ける背景となった「三角貿易」の仕組みを正しく説明したものはどれか。 (2021年 岡山公立入試 類似)

- |  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| 1. イギリスから清へ綿織物を送り、清からインドへ銀を送り、インドからイギリスへ茶を送る仕組み。 | 2. イギリスからインドへ綿製品を送り、インドから清へアヘンを送り、清からイギリスへ茶を売った代金の銀が流れる仕組み。 | 3. 清からイギリスへ生糸を送り、イギリスからインドへ武器を送り、インドから清へ香辛料を送る仕組み。 | 4. インドからイギリスへ小麦を送り、イギリスから清へ工業製品を送り、清からインドへ労働力を送る仕組み。 |
|--|---|--|--|

**問8** 産業革命が起こった18世紀から19世紀にかけて、生産力の飛躍的な増大を支えた最も重要な技術的背景として正しいものはどれですか。 (2020年 沖縄公立入試 類似)

- |                                   |                                   |                                   |                                  |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 蒸気機関を動力源として利用し、工場での大量生産を可能にした。 | 2. 電気モーターを動力源として普及させ、情報通信技術を確立した。 | 3. 牛や馬などの家畜を動力源として、農作業の効率を最大化させた。 | 4. 原子力エネルギーを動力源として、巨大なプラントを建設した。 |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|

## 答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**  
**アメリカ国内で、工業化を進める北部と奴隷制を維持する南部の対立から南北戦争が続いていた。**
- リンカーンの演説は、1861年から1865年にかけて行われたアメリカ南北戦争の途上で行われました。フランス革命は18世紀末（1789年～）、コロンブスの航海は15世紀末（1492年）、辛亥革命は20世紀初頭（1911年）の出来事であり、これらは時代や場所が異なります。リンカーンの演説が行われた背景には、バラバラになりかけた合衆国を民主主義の精神によって再び一つにまとめようとする強い意図がありました。
- 問2** **答え 1**  
**輸出品は生糸、輸入品は綿織物が中心であり、輸出額が輸入額を上回る輸出超過の状態であった。**
- 幕末の貿易において、日本の最大の輸出品は生糸であり、次いで茶などが挙げられます。一方で輸入品は綿織物や毛織物といった衣類原料が中心でした。1860年から1867年にかけての輸出入額の推移を見ると、一貫して日本の輸出額が輸入額を上回っており、この状態を輸出超過と呼びます。この貿易構造は、国内の物資不足や物価高騰を招く一因ともなりました。
- 問3** **答え 1**  
**南京条約 — 香港**
- イギリスはアヘンの没収をきっかけに清へ軍事侵攻を行い、アヘン戦争を引き起こしました。1842年に締結された南京条約では、香港の領有のほか、上海などの5港の開港や多額の賠償金の支払いが定められ、清にとって極めて不利な内容となりました。下関条約は日清戦争の講和条約であり、混同しないよう注意が必要です。
- 問4** **答え 1**  
**日本国内で事件を起こした外国人に対し、日本の警察や裁判所が日本の法律を適用して処罰できなかった。**
- 領事裁判権が認められたことにより、外国人が日本人に対して暴行などの罪を犯しても、その国の領事によって裁判が行われ、軽い刑罰で済まされるといった不公平な事例が多発しました。このように自国の司法権が及ばないことは、主権国家として対等ではない不平等な状態を意味します。なお、輸入関税を決められない不利益は「関税自主権の欠如」にあたります。
- 問5** **答え 1**  
**幕府が朝廷の許可なく開港や条約調印を進めたことに反対派が反発し、それに対する安政の大獄での弾圧が、有力藩による薩長同盟などの倒幕運動を加速させた。**
- ペリー来航後の開港は、国内の「攘夷（外国を追い払う）」思想と結びつき、幕府の外交姿勢を批判する勢力を生みました。大老の井伊直弼が安政の大獄でこれらを押しさえつけようとしたことは、かえって反幕府の機運を強める結果を招きました。その後、軍事力を持つ薩摩藩と長州藩が、土佐藩の坂本龍馬らの仲介で薩長同盟を結んだことで、幕府を倒す具体的な準備が整うことになりました。
- 問6** **答え 1**  
**海外から安価な綿織物が大量に流入したことで、国内の綿織物生産が大きな打撃を受けた。**
- 開国後の貿易において、日本は生糸を筆頭に茶などを輸出しましたが、同時に産業革命を経たイギリスなどから安価な綿製品や毛織物が大量に輸入されました。これにより、それまで日本の農村で盛んだった家内工業としての綿織物生産は、価格競争に勝てず衰退するなど大きな影響を受けることとなりました。一方で、生糸の需要急増は物価の上昇を招き、社会不安の一因ともなりました。
- 問7** **答え 2**  
**イギリスからインドへ綿製品を送り、インドから清へアヘンを送り、清からイギリスへ茶を売った代金の銀が流れる仕組み。**
- イギリスは自国の貿易赤字を解消するため、植民地であるインドを利用しました。イギリス製の綿製品をインドへ、インド産のアヘンを清へ、そして清の茶をイギリスへ運ぶという構造を構築することで、最終的に清からイギリスへ銀が還流する仕組みを作り上げました。このアヘン貿易の強制が戦争の直接的な背景となりました。
- 問8** **答え 1**  
**蒸気機関を動力源として利用し、工場での大量生産を可能にした。**
- ワットによる蒸気機関の改良は、それまでの水力や畜力に頼っていた生産体制を一変させました。石炭を燃料とする蒸気機関が工場の機械や鉄道、蒸気船に活用されたことで、安定した大量生産と迅速な輸送が実現し、工業中心の社会へと移行しました。